

令和2年度12月議会一般質問

みよし市議会議員		
議席番号	氏 名	
3番	塚本 直樹	

番号	件 名 (大項目・中項目)	要 旨
1	魅力あるまちづくりに向けた提案 (1) 市民アンケートワースト3への対応 (2) 市民の評価の高い事業への取り組み (3) まちの顔づくりと三好公園・中央運動公園の整備	別紙の通り

別 紙

番 号	件 名 (大項目)
1	魅力あるまちづくりに向けた提案
中 項 目	
(1) 市民アンケートワースト3への対応	

小項目 (○付数字)

新世紀の会の塚本直樹です。議長のお許しをいただきましたので、私から大項目1点「魅力あるまちづくりに向けた提案」、中項目3点、小項目22の質問をさせていただきます。今日・明日の一般質問を行う12名の議員のトップを切って頑張ってお答えしますので、前向きなご答弁をお願いいたします。

さて、終息に向かうと思われた新型コロナウイルス感染症が第3派の感染期を迎えたともいわれ、連日報道されています。市長をはじめ職員の皆様には、会議・事業の中止や延期・規模の縮小、様々な感染症対策にご尽力をいただいていることに、敬意と感謝を申し上げます。

幸いにも本市は、2020年東洋経済の住みよさランキングで県内3位、全国18位という高い評価を得ています。また、11月23日付けの日本経済新聞社の「まちの会計」の特集で、自主財源比率が82.4%全国815市区の中で、第1位という最高位の評価を得ています。ただし、よく分析をすると財政的に恵まれているが、安心度・便利度は真ん中より下位で、快適度も145位に留まっており、手放しでは喜べません。お金はあるがしっかりした対応ができず、無策ということにもなります。

まちづくりの指針である第2次総合計画と先に発表された3年ごとのローリングプランに照らし随時質問しますので、よろしくお願いたします。

中項目1「市民アンケートワースト3」への対応について伺います。

① 最初に、市民の声を聴くために、市はどのような手法を取っていますか。

(答弁要旨)

計画策定のための市民アンケート、施策評価における市民の重要度・満足度を伺う行政評価市民アンケート、パブリックコメント、提言箱、電子メール等で広く意見を聞いています。加えて、ワークショップや意見交換会を行っています。

② 次に、総合計画23ページに、市民アンケートに基づいた満足度・重要度が載っています。この中で、ワースト3（公共交通の充実、まちの顔づくり、商業観光の充実）への

応策はどのようになっていますか。

(答弁要旨)

公共交通の分野では、令和4年春を目指し、さんさんバスの路線再編を進めています。市街地整備の分野では、都市計画事業を継続し、道路や公園など地区施設の整備を行っています。

観光・魅力発信の分野では、観光情報の発信として、ポスターや観光ガイドマップを配布しています。

③ 毎年実施している、市民アンケートの結果については、どのように対応していますか。

(答弁要旨)

行政評価アンケートの結果は、各部署で情報を共有しています。アンケート結果を点数化し、次年度の重点施策の決定に活用しています。

④ 毎年実施している行政区要望について、市はどのように対応してみえますか。

(答弁要旨)

行政区要望については、次年度の当初予算に反映させるため、各行政区から優先順位を付けて提出いただいています。所管課で検討し、その結果を3月の定例区長会で報告しています。また、年度途中の施設修繕などは、緊急要望として随時受け付けをし対応しています。

⑤ 市民の要望に対し、市の対応への評価・検証をどのように行い、実施計画及び次年度以降の予算に反映しているか、ご説明ください。

(答弁要旨)

担当課・次長級の一次評価、外部有識者の2次評価を経て、評価会議による3次評価を行います。最終的に事業の「拡大」、「改善」、「現状維持」、「縮小」、「統合」、「完了」、「廃止・休止」に振り分けて、実施計画・予算編成に反映させています。

市民からの意見の集約方法及び市民満足度が低い3事業について、質問しました。

満足度の低い事業というのは、明らかに他市に劣っているだけでなく、重要度が高く期待度が大きい事業でありながら十分な対策が取られてない事業であると考えます。

今回提案したワースト3事業を改善することで、まちの魅力にも直結し、郷土愛やともすると「ふるさと納税額」つながってまいります。不満の要因・内容をよく分析をして、速やかな改善と迅速な対応をお願いし、次の質問に移ります。

別紙

番号	件名 (大項目)
1	魅力あるまちづくりに向けた提案
中項目	
(2) 市民の評価の高い事業への取り組み	

小項目 (○付数字)

次に、中項目2で、市民アンケートで満足度の高い事業（下水道整備・図書館の整備・公園緑のまちづくり）について、市の長所を生かし、まちの魅力を高めるという観点から質問します。

- ① 先ず、市民アンケートで高い評価を得ている下水道の整備について、満足度をどのようにとらえていますか。

(答弁要旨)

本市の下水道事業は、古く昭和50年度から整備に着手し、市民アンケートが実施された平成28年10月時点で、97.7%の高い普及率となっています。

- ② 同じく評価の高い、図書館の整備についての、満足度をどのようにとらえていますか。

(答弁要旨)

毎年利用者アンケートを実施しており、88.9%が満足と答えています。自動貸出機の導入や閲覧席、勉強スペースなどに対し、満足と答えており、今後も蔵書冊数・種類を増加し、サービスを提供に努めます。

- ③ 下水・図書館同様に評価の高い、公園・緑のまちづくりについて、その満足度をどのようにとらえていますか。

(答弁要旨)

継続的に公園整備を行った結果、本市一人当りの公園面積が14.8㎡で、県平均7.8㎡を大きく上回っています。公園整備と緑の多いことで高い評価を得たものと考えています。

ありがとうございます。私も一市民として、満足率の高い事業の継続を望むものですが高い満足度を維持し、まちの魅力を一層高めるために次の7つの質問をさせていただきます。

- ④ 下水道事業について、企業会計へ昨年度から移行した理由と下水道の接続率の向上の取り組みはどのようにされていますか。

(答弁要旨)

経営・資産等を正確に把握すること、平成27年に総務大臣から人口3万人以上の市町村に対して令和2年度までに公営企業会計に移行するよう要請があり、本市は平成31年4月から公営企業会計に移行しました。

令和元年度末の普及率が98.2%であり、接続戸数は92.9%のため、文書発送や戸別訪問により接続推進に取り組んでいます。

経営状況を明確にすること、接続率を高める努力をしていると伺い安心しました。次に

- ⑤ 農業集落排水、コミュニティプラント事業を公共下水道事業に一元化する考えはありますか。

(答弁要旨)

愛知県や境川流域内の9市町と調整をし、処理場の劣化度や維持管理費を総合的に比較し、一元化に向けた取組を進めてまいります。

- ⑥ 図書館学習交流プラザ・サンライブ内の中央図書館について、利用者数・貸し出し数・蔵書数の推移は。開館時の数と新型コロナウイルス感染症発生前で影響の少なかった令和元年度との比較でお答えください。

(答弁要旨)

サンライブ内の中央図書館は、平成28年7月2日に開館しました。開館後の平成28年末と令和元年度の比較では、貸し出し利用者が81,187人から136,131人、貸し出し冊数が302,786冊から500,533冊、蔵書数が225,562冊から286,516冊で、いずれも増加しています。

- ⑦ サンライブは、当初5年間は直営にて管理し、その後指定管理者制度の導入の可否を行うとされていましたが、現在の一部業務委託による市管理を今後の管理方針とした理由をご説明ください。

(答弁要旨)

図書館学習交流プラザ「サンライブ」の管理について、図書館協議会からの提言、コストの比較、来館者アンケートの3つの理由で、現在の一部業務委託による市管理を継続することにしました。

- ⑧ 市の公園と緑化については、昨年改訂された「まちづくり基本計画」の下、平成23年7月1日から計画実施されている「みどりと景観計画」に基づき事業展開されています。この緑と景観計画の目標にあります、「暮らしに賑わいと交流をもたらす公園などの新たな空間をつくる」について、その事業内容と過去に整備された公園についてご説明ください。

(答弁要旨)

身近な公園緑地をバランスよく整備するため、「みどりと景観計画」策定の平成23年以

降、おかよし地域で公園2.77ha、きたよし地域で0.95ha、なかよし地域で0.29ha、みなよし地域で0.31ha 整備しました。市全体では公園が15カ所4.42ha、緑地は16カ所19.08ha を供用開始しました。

⑨ 間もなく10年が経過するこの「みどりと景観計画」の検証と見直しを行う予定はありますか。

(答弁要旨)

計画目標年次が令和5年であり、令和4年度と令和5年度の2カ年をかけて、総合的な検証と改訂を予定しています。

市民アンケートで、満足度の高い3つの事業について尋ねました。

社会資本整備・快適な暮らしのバロメーターである下水道の整備、知る喜び・学ぶ喜びが実感できる図書館や生涯学習センター、潤いと安らぎの空間としての公園整備について、市民の満足度が高いことは、まちの誇りでも有ります。

緑の景観計画は次の策定のスケジュールが決まっており、図書館は市北部のカリヨンハウス内のサンネットに図書コーナーがあり、その閲覧スペースを拡充する計画があるとも伺っています。駅にも近く、多くの利用が期待されます。賑わいや交流の創設に役立つ施設となることを期待します。

以上の3事業は市民満足度の高い事業ではありますが、アンケートの結果に油断することのないよう、引き続き積極的な行政運営をお願いして次の項目に移ります。

別 紙

番 号	件 名 (大項目)
1	魅力あるまちづくりに向けた提案
中 項 目	
(3) まちの顔づくりと三好公園・中央運動公園の整備	

小項目 (○付数字)

魅力あるまちづくりに向けた提案の中項目3点目は、「まちの顔づくり」と「三好公園・中央公園整備」であります。最初に、

- ① まちの顔づくりとは、総合計画の基本目標4の「魅力と活力あふれるまち」の内、どのような事業を指すのですか。

(答弁要旨)

第2次総合計画における「まちの顔づくりの事業」として、三好ヶ丘駅前整備、住環境整備、工業や商業、三大祭り支援を指しています。

- ② まちの顔とは、一般的には、まちの中心市街地、買い物に便利な商店街の形成や名所・旧跡、中央公園や城址公園などを指すと考えます。中心市街地や商店街の整備、公園の整備について、事業実施されている或いは決定及び計画されている事業について説明ください。

(答弁要旨)

市街地整備としては、三好中島地区計画2号・3号調整池、中島1号4号公園、道路整備としては東郷三好線、平池天王台線、蜂ヶ池線などがあります。

駅前整備としては、三好ヶ丘駅前広場整備事業が現在事業実施中で、来年4月に共用開始予定です。

公園整備では、三好公園、保田ヶ池公園を継続して整備し、福谷公園については今後事業推進します。

- ③ 本市の中央にある都市公園「三好公園」について、展望台や歩車道分離の散策道を整備する計画がりましたが、住民の理解が得られず中断し、以来10数年が経過しました。三好池は2千本余の桜が植えられ、桜の名所になっています。隣接して果樹園や梅園もあり、水と緑の美しい公園となっています。ジョギングや散歩を楽しむ市民で一年を通じてにぎわっています。公園の整備は、市民の憩いの場を提供するのみでなく、市の自慢、市の象徴、まちの顔になりうると考えますが、三好公園の整備計画は現在どうなっていますか。

(答弁要旨)

三好公園は区域が広いため、エリアを定め順次整備を行います。また、植樹されている桜なども加齢により衰弱しつつあるため、本年度「三好公園樹木対策基本計画」を策定し、この計画に基づき維持管理と整備を行います。

三好公園の整備計画について、ご答弁をいただきました。総合的な整備計画が無いのは残念ですが、三好公園の樹木対策基本計画を今年度中に策定し、枯れ木や老木となった桜並木を順次再生するという説明でありました。

ここで私が職員時代のことを一つ紹介したいと思います。本市出身の太田朋子先生は、ご存じのとおり、世界的な遺伝学者であり・文化勲章受章者であり、みよし市（当時は三好町）の町民栄誉賞の初代受章者であります。文化の日記念式典の太田先生の送迎係が私で、ホテルまで太田先生と恩師である国立遺伝学研究所名誉教授の木村資生先生を迎えに行きました。式典まで時間があり、お二人をご案内したのが、三好池でした。

太田先生は「高校通学時に近くを通っていましたが、こんなに大きく立派な池でしたか」と驚かれ、木村先生は、「まちの真ん中に美しく立派な公園があることは、まちの宝です。しっかり守ってください」と言われました。あれから30年以上たちますが、私は、今でも三好池は「まちの顔・まちの宝」だと思っています。

現在の桜の状態は、専門の樹木医により判断されたとのことですが、植栽を行う場合も専門家の意見を聞いていただくようお願いします。次に、

- ④ 三好池の本堤防は現在、大規模な耐震改修が行われています。堤体下部は既に完了し、上部三好池部分も4月には工事完了すると水資源機構に確認しました。水を満々と称えた三好池の姿にはいつ戻るのでしょうか。

(答弁要旨)

耐震工事は令和3年4月には完工し、5月には水を入れ始める予定と伺っています。

それでは、続いて堤防工事完了後の湖面利用の再開について尋ねます。

- ⑤ 本市はカヌーのまちとして、全国に知られています。三好池や保田ヶ池でのカヌーの練習風景もまちの象徴・顔であります。また、三好池まつりには市外からも多くの観客でにぎわい、本市の三大夏祭りの一つになっています。三好池カヌー競技場は、いつ再設置され利用できるのでしょうか。来年の三好池祭りは、実施可能でしょうか。

(答弁要旨)

三好池カヌー競技場は、復水状況を確認し安全性を確認した後に再開したいと考えています。また、5月から水を入れ始めれば、三好池まつりは実施可能と考えます。

具体的にご答弁を伺えなくて残念です。ローリングプランには3年度の事業費として観光協会の補助金をはじめ花火打ち上げ台の新設費1千万円、カヌースプリントコースの設

置 3 千 960 万円、乗降用棧橋 6 百万が掲載されています。

当初の令和 3 年 12 月までの工期では水利権がない愛知用水は、令和 4 年 5 月以降に水を入れるため工事はできない訳で、打ち上げ台や棧橋がなければ「三好池祭り」はできないこととなります。

三好池は 220 万立米の貯水量で、最大秒 1 トンの水を流入できます。一日 86, 400 トン、39 日で満水になる計算です。愛知用水の水利権は 5 月から 10 月のため、計算上は 5 月 1 日から水を入れ始め、6 月 10 日ころには満水になります。

しかしながら、農業用水として田植え用に水を使いますし、牧尾ダム付近の降雪量が少なく節水ともなれば多くの水を流入することができません。水利権者である愛知用水とも十分な調整をしていただきますよう要望します。

現場で確認したところ、工事進捗率は 11 月末で約 80%、12 月当初に最後の杭打ちと水位観測棟の改修が行われるということです。私からは、中・高校生の力又一部員が一日も早く三好池での練習を再開できること、大会が実施できる「三好池力又一競技場」の再設置を切望し、次の質問に移ります。

⑥ 三好公園の堤体下部約 10 ヘクタールは、総合体育館と陸上競技場・野球場・テニスコート・弓道場などが整備され市の中央運動公園になっています。この内、三好公園陸上競技場と野球場は老朽化が著しくなっています。陸上競技場を人工芝に張り替えるなどの大規模な改修と、野球場の建て替えを行う計画はありますか。スポーツ施設の整備は、本市の魅力の向上と市の顔づくりになると考えますが。

(答弁要旨)

陸上競技場は昭和 43 年に開設され、修繕を行ってきましたが、排水が悪く改修の要望をいただいています。野球場は昭和 46 年に設置され、老朽化等も認識しています。両施設の改修には多大な費用がかかるため、特定財源(国・県補助金等)を考慮したうえで検討してまいります。また、立て替えについては、スポーツ施設の再配置計画に基づき検討し、両施設は本市のスポーツ施設の中でも、中心的な施設でありますので、「まちの顔」にふさわしいものとなるよう計画的に事業推進します。

詳細な説明ありがとうございます。

ローリングプランには、スポーツ施設の整備として、旭グラウンドの LED 化と人工芝への張替えが載っています。

私は、まちの中央運動公園であり体育祭やマラソン駅伝大会・ソフトボール大会などの市行事をはじめ、幼稚園の運動会・お年寄りのグラウンドゴルフ・ゲートボールなど幅広く利用される三好公園陸上競技場や老朽化の著しい野球場を優先させるべきだと思います。競技施設の配置計画は総合計画やローリングプランのどこに位置付けられていますでしょうか。配置計画を速やかに策定し施設改修に取り掛かるようお願いいたします。

⑦ 三好池の南東、8千平方メートルの土地が、フェンスで囲んでありますが、市は把握していますか。

(答弁要旨)

三好公園の都市計画決定された区域内にある個人の所有地であることを把握しています。

把握しているというご答弁でした。国道153号線から直接乗り入れが可能でること法人一社が所有しているため用地買収も容易と思ひ質問しました。三好公園南側のエントランスや駐車場、三好池祭りの観覧スペースになりますが、私は「カヌーのまち」の一層の充実、加えてスポーツ振興、魅力あるまちづくりの観点から、本日最後の質問に入ります。

⑧ 間もなくパリオリンピックの競技カテゴリーが、決定される予定です。結果次第では、2026年のアジア大会で三好池カヌー競技場のカヌースプリント種目の実施も可能になります。また、2028年にはインターハイが愛知県を含む東海地区で開催され、三好池はカヌー競技の有力候補です。

当該土地は、カヌー大会の選手控え・艇置き場、交流ペースにも活用できますし、インターハイ終了後は、公園施設はもとより、陸上競技場のサブグラウンドやサッカー場やラグビー場としても広く活用できると考えます。サッカーJリーグ・グランパスエイトのホームタウンや先に支援協定を結んだラグビートップリーグ・ヴェルブリッツの支援にも役立ち、「魅力あるまちづくり」につながると考えますが、購入を含め市の考えをお示しください。

(答弁要旨)

三好公園の都市計画決定された区域内にあることは認識し、公園用地として有用ではありますが、現時点では事業認可区域外のため、今後必要に応じ協議したいと考えます。スポーツ大会やイベントの利用については、所有者の許す範囲内で借地等にて対応したいと考えています。

ありがとうございます。カヌー大会は、借地で対応するという答弁でした。アジア大会・インターハイの三好池開催は決定事項ではなく現段階の答弁としては、仕方のないことと思います。アジア大会まで5年、インターハイまで7年、そんなに期間は残されていません。所有者の買取り要望を待つのではなく、必要であれば積極的な対応をお願いいたします。

今回の一般質問では、魅力あるまちづくりの提案として、

市民の満足度の低い事業は早急に対応し、満足度の高い事業は油断することなく積極的な行政運営を行うこと、まちの顔づくりとしては、三好公園のスポーツ施設を含めた再整備について提案させていただきました。

近隣の市町に目を向けたとき、東郷町では9月に大型商業施設がオープンし、日進市の赤池駅周辺のまちづくりが急ピッチで進み、愛知牧場も週末は多くの人で賑わっています。長

久手市では2022年の秋、愛知万博記念公園内に「ジブリパーク」がオープンするなど、まちの顔づくりが進んでいます。

本市のまちの顔・魅力について、最初に申し上げた「コロナ禍であってもまちづくりに待ったはない」という言葉を、今一度それぞれの業務内で再検討されるようお願いし、私の一般質問を終わります。

(12月一般質問の中継録画は、みよし市のホームページでもご覧いただけます。)